

Mr. Bassman (ベースマン列伝) Vol.34

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変…。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥くとももの凄い名演・名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

Gary Peacock【ゲイリー・ピーコック】

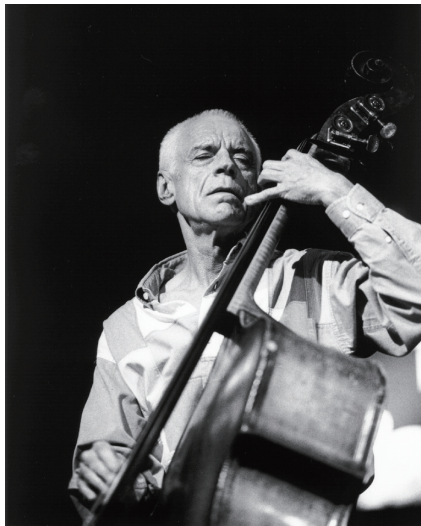


Photo : Roberto Masotti © ECM Records

Profile

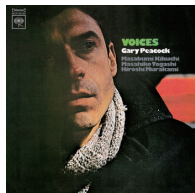
1935年5月12日、米国アイダホ州パーレイ生まれ。13歳でピアノを始める。54年から2年間兵役に就き、ドイツに赴任。陸軍バンドでピアノを弾き、この間にベースも学ぶ。56年の除隊後よりベースに専念し、ロサンゼルスでバーニー・ケッセル、アート・ベッパ、ハロルド・ランド、バド・シャンク等と活動。62年にニューヨークに進出し、ポール・ブレイ、ドン・チェリー、ビル・エヴァンス、アルバート・アイラー等と共演し、フリー・ジャズのムーブメントの中で頭角を現す。この頃にロン・カーターの代役でマイルス・デイヴィスのバンドにも参加。70年から72年までの2年間、京都に滞在し、禅仏教の影響を強く受け、自然食生活を送ったといわれる。72年に帰国し、ワシントン大学で生物学を学ぶ。その後、ポール・ブレイのトリオで活動を再開。70年代後半はアート・ランディのトリオで活躍。76年から83年までコーニッシュ・カレッジで音楽理論を教える。77年にECMより初リーダー・アルバム『テイルズ・オブ・アナザー』を発表。83年にキース・ジャレットの「スタンダーズ・トリオ」にジャック・ディジョネットと共に参加。来日機会も多く、日本でも高い人気を誇る。86年に富樫雅彦、佐藤彦彦と「ウェイブ」、90年に菊地雅章、ポール・モチアンと「テザード・ムーン」を結成。78歳となった現在も活躍中。

禅にも傾倒し、わび・さびを感じさせる名ベースマン

日本と馴染みが深いゲイリー・ピーコックは富樫雅彦や菊地雅章等とも名演を残しており、禅に傾倒し、日本に滞在していた当時にはTBSラジオで『ゲイリー・ピーコックを探せ』というドキュメンタリー番組も放送された。60年代に若くしてこの世を去ったポール・チェンバースやスコット・ラファロとは同年代のベースマン。また、この場では詳細は割愛させて頂くが、ゲイリーの最初の妻はニューヨーク出身の女性シンガー兼コンポーザーのアネット・ピーコックで、アネットが後に再婚することになるポール・ブレイとの関係は逸話はジャズ・シーンでは有名で、あのジョージ・ハリソンとエリック・クラプトンの関係と共に語られることも多い。尚、本誌編集長がニューヨークでウェイターをしていた当時、一人で店を訪れたゲイリー・ピーコックに「ゲイリー・ピーコックさんですか？」と尋ねるも「違う!」と即答された経験を持つ…。

GP's Great Albums

ほとんどのリーダー・アルバムをはじめ、キース・ジャレットとのアルバム等もECMからリリースされ、ここに紹介した作品以外にも数多くの名演・名盤が残されている。



ヴォイセス ゲイリー・ピーコック

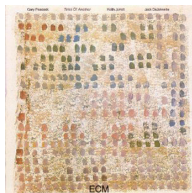
(ソニー・ミュージック: SICP-20155) [入手困難]

1971年録音。ゲイリーが日本滞在中に菊地雅章(p)、富樫雅彦、村上寛(ds)と録音した作品。「イン(意思)」「梵鐘」「鎮魂歌」等、全6曲収録。

スタンダーズ Vol.2 キース・ジャレット・トリオ

(ユニバーサル・ミュージック: POCJ-2413)

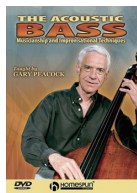
1983年録音。キース・ジャレット率いる「スタンダーズ・トリオ」の名盤で、『Vol.1』と同日録音作品。ゲイリーのベースも渋く、収録曲が魅力。



テイルズ・オブ・アナザー ゲイリー・ピーコック

(ユニバーサル・ミュージック: UCCU-5281)

「スタンダーズ・トリオ」結成の6年前、1977年にゲイリーのリーダー名義でキース・ジャレット(p)とジャック・ディジョネット(ds)と共に録音した名盤。



The Acoustic Bass Gary Peacock

(Homespun: HL00641901) [Import DVD]

ゲイリー・ピーコックがアコースティック・ベースの演奏技法と精神面について教授する映像作品。体の位置や動きに関する実践的な解説も必見。

Keith Jarrett
Standards, Vol. 2
Gary Peacock
Jack DeJohnette